

情 報 公 開 文 書

研究の名称	口腔機能障害の評価法と治療効果に関する研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 歯科口腔外科 助教 藤原久美子
研究の概要	<p>【研究対象者】 口腔機能発達不全症あるいは口腔機能低下症と診断、または口腔の運動機能障害である、摂食嚥下障害・構音障害と診断した患者を対象とします。期間は2005年1月1日から2021年12月末までに受診した症例を対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】 口腔は、発話や摂食嚥下など、日常生活に関わる重要な器官です。乳児から小児期にかけては離乳食がすすまない、十分量の栄養を経口摂取できない、発音・発話が不明瞭、といった機能発達不全を認め、成人では構音障害や摂食・嚥下障害による誤嚥性肺炎など、機能低下と二次障害を認めることがあります。原因としては、口唇口蓋裂や舌小帯短縮症などの先天性疾患や口腔がんの術後など口腔内の器質的問題や、脳損傷による運動障害、周術期、高齢化、疾病治療のための安静による廃用性の機能低下など、様々な要因や全身的背景が考えられます。このような口腔機能に障害がある状態は、構音障害や摂食嚥下障害だけでなく、口腔機能発達不全や口腔機能低下と定義され、近年、患者は増加傾向を示しています。当科では言語聴覚士とともにこのような口腔機能障害のある患者への治療を行っていますが、患者背景となる全身疾患や器質的問題など多くの要素が関与し、評価法や治療法について画一した手法はありません。そこで本研究では、口腔機能障害を有する患者に関し、検査法や診断、治療内容に関する後ろ向き研究を行い、今後の診断や治療に役立てることを目的とします。</p> <p>【研究の方法】 後ろ向き観察研究</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2025年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 日本口腔外科学会、小児口腔外科学会、有病者歯科学会などでの学会発表や論文発表を予定しています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	カルテ記載情報(口内所見(残存歯数、義歯の有無等)、口腔機能検査結果(舌圧、SSRI、構音評価等)、発達検査や高次脳機能検査の結果)および画像(単純エックス線画像、VF画像等)や音声検査資料(ナゾメーター等)を対象とします。また当科ですでに取得済みの本人の特定が不可能な健常人の音声データ等を対照群として利用予定です。 他機関への提供: 無
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究責任者 富山大学附属病院 歯科口腔外科 助教 藤原久美子
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	研究責任者 富山大学附属病院 歯科口腔外科 助教 藤原久美子

研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む) を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7383 FAX 076-434-5041 富山大学医学部 歯科口腔外科学講座 内線 7383 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 中道 尚美
--------------------------	---